

くまもとSDGsアワード2025募集要項

1 目的

くまもとSDGsアワードは、SDGsに関する独自の先導的な取り組みを行う県内事業者及び地域社会に貢献する優れた取り組みを行う個人・団体等を表彰することにより、本県におけるSDGsの取り組みのさらなる深化と質の向上を図ることを目的とする。

2 表彰の部門

表彰の部門は、次のとおりとする。

- ①くまもとSDGs牽引部門
- ②SDGs未来づくり部門

3 表彰の対象

表彰の対象は、次のとおりとする。

① くまもとSDGs牽引部門

事業活動を通じて、社会課題の解決及び持続可能な経済発展につながるSDGsに関する独自の先導的な取り組みを行う熊本県SDGs登録事業者。（応募時点で申請中のものを含む）

② SDGs未来づくり部門

地域社会に貢献する優れた取り組み（地域づくりや伝統文化の継承に向けた取り組み等も含む）によりSDGsを推進する、県内に所在地を有する個人、NPO、学校、法人、民間団体等。内容に応じて熊本県SDGs登録事業者も応募可。

4 応募要件

- ・今回応募する取り組みを令和7年度に継続して行っていること。
- ・応募数は1者（※注）につきいずれか1部門1件までとする。
（※注）1者とは、名称又は構成員が同一であることを意味する。ただし、3
①のとおり、くまもとSDGs牽引部門は、熊本県SDGs登録事業者（登録している名称）としてのみ応募できる。
- ・応募は自薦とする。
- ・他のコンテストや表彰制度等で受賞歴がある取り組みについても応募できる。

5 募集

（1）募集期間（予定）

令和7年（2025年）7月7日（月）～8月25日（月）

（2）応募方法

- ・下記応募フォームによる。
（URL）
- ・一度送信した内容について、応募者の都合による修正は、原則として認めない。
- ・応募フォームの各記入項目には、文字数制限を設ける。

6 選考方法

有識者等で組織する「くまもとSDGsアワード」選考委員会の審査により決定する。（書面審査・プレゼン審査）

募集要件を満たしているか等を確認する事前審査は、事務局で行う。

7 選考基準

別紙のとおり

8 結果の通知

10月頃、書面審査の結果を書面で通知する。プレゼンテーション審査進出者へは別途連絡を行う。なお、審査経過に係る問い合わせ、審査結果等に対する異議申し立てについては受け付けない。

9 表彰

(1) 表彰の種類及び表彰数

①くまもとSDGs牽引部門

大賞：1件 優秀賞：2件程度 入賞：3件程度

②SDGs未来づくり部門

大賞：1件 優秀賞：2件程度 入賞：3件程度

※その他、特筆すべき功績があったと認められる者について、特別賞を付与する場合があります。

(2) 表彰方法

12月14日（日）に表彰式を開催し、表彰状を授与。併せて受賞者相互の取り組みを共有し、今後の活動に生かすため交流会を実施する。

10 その他

- ・提出された内容は、主催者による発表や報道機関、教育・研究機関に求められれば提供することがある。
- ・応募者が法令違反の容疑により逮捕され、または逮捕を経ないで公訴を提起された場合等の不正または不誠実な行為があった場合は、表彰の対象としないこととする。
- ・くまもとSDGs牽引部門の大賞を受賞したものは、次年度以降、本アワードの受賞対象とならない。また、SDGs未来づくり部門の大賞を受賞したものは、次年度以降、同部門の受賞対象とならない。
- ・応募者の了解の上、応募内容に適した部門に変更することがある。

11 主催

くまもとSDGsアワード実行委員会

12 問い合わせ先

くまもとSDGsアワード実行委員会事務局（熊本日日新聞社事務局事業本部事業部）

TEL: 096-361-3383

E-mail: jigyo@kumanichi.co.jp

別紙

くまもとSDGsアワード2025選考基準

応募フォームの記載内容等を踏まえ、総合的に選考する。
下表の各項目について、4段階の基準で評価を行う。

(1) 評価項目

項目	概要
普遍性	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールモデルとして取り組みやすく、普及によってより発展が見込まれる内容となっているか ・継続、発展が見込まれる取り組みであるか 等
包摂性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会に広く共感され、多くの人に受け入れられる内容となっているか ・SDGsの「誰一人取り残さない」の理念に則り、特定の対象だけでなく、幅広く効果をもたらす内容であるか 等
協働性	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なステークホルダー（関係者）と連携し、活動規模を広げることで、目標達成に向けて強く前進しているか ・活動の知見を広く共有して、SDGsのゴール達成や課題に取り組む人材の育成に資するよう取り組んでいるか 等
統合性	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの複数のゴールの達成に直接的に結びつく取り組みであるか ・経済、社会、環境の3分野での相乗効果を生み出し、自律的な循環（継続性・持続性）が見込まれるか 等
透明性	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みを定量的・定性的に評価し、活動の深化につなげているか ・情報公開を行って透明性を確保しているか 等
牽引力加点 (くまもとSDGs牽引部門のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動を通じた取り組みの実績やその効果を重視する ・斬新な取り組みに限らず、既存の取り組みの新しい組み合わせや工夫により、新しい価値を生み出すものとなっているか 等
未来づくり加点 (SDGs未来づくり部門のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を構成する人々（学生や市民など）が主体となり、将来に向けた取り組みによって地域社会に幅広く還元できるものであるか 等

(2) 評価基準

評価	評価基準
A	極めて顕著な功績があったと認められる
B	特に顕著な功績があったと認められる
C	顕著な功績があったと認められる
D	顕著な功績は認められない